

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズハウスきずなStep		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日		2025年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人のセラピストからアドバイスをもらいながら、個別での関わり方や療育内容を充実させている	スタッフ間で常に情報共有を行い、共通理解を深めている	内部、外部の研修を受け、意識の向上とスタッフのスキルアップを図る
2	事業所のすぐ横に公園があり、室内だけでなく屋外での療育も行いやすい環境である	ルールのある集団あそび等で社会性や、コミュニケーションスキルをあげられるような活動を工夫して行っている	さまざまな遊びが交錯(ボール、自転車等)した時の環境整備を充実させる
3	保護者との情報共有・情報連携が多い	日ごろから保護者とまめに連絡をとるよう心掛けている	日ごろの児童の様子のささいな変化を見逃さず、保護者に伝えたり、保護者から相談等があった場合は迅速に対応するよう努める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の少なさ	個々の療育に目が向きがちで交流の機会を持っていない	将来の地域移行も含め、どのように関わっていくのが良いか、地域との連携を深めていく
2	保護者同士の交流の機会の少なさ	以前は定期的に親会を開催していたが、どのような形での開催が良いのか、方向性を定めきれていない	まずは事業所単位で交流の内容を考えてみる 保護者へも希望内容をリサーチする
3	外部への発信力	SNS等で療育内容を外部に伝えていく、という意識が低い	日ごろの児童の様子のささいな変化を見逃さず、保護者に伝えたり、保護者から相談等があった場合は迅速に対応するよう努める